



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1109 2018年2月5日

ARIBからのお知らせ

**2017年度 APT 研修**  
**「次世代及び新世代移動通信システム実現に向けた取組」**  
**「カントリーレポートプレゼンテーション」への参加について**

総務省・YRP 研究開発推進協会 主催、ARIB の協賛により、例年実施されている APT (Asia-Pacific Telecommunity) 研修「次世代及び新世代移動通信システム実現に向けた取組」が、2017年度は2月21日(水)～2月28日(水)に実施されます。

本研修にはアジア諸国から例年10～15名が参加しており、今年度は13名(出身国：香港、インド、インドネシア、イラン、ラオス、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、トンガ、ベトナム)の研修生が来日予定です。

この研修期間中、2月21日(水)及び22日(木)に ARIB 関連セッションが当会会議室で開催されます。2月21日(水)は ARIB 及び企業からの講義で、2月22日(木)はカントリーレポートプレゼンテーションを予定しており、各研修生から、各国の周波数割当、移動通信関連の規制・政策動向等について発表していただき、その後質疑を行います。今年は研修生への報告依頼事項に「LPWAの現状と今後の展開」、「WRC-19 議題 1.13 (将来の IMT の開発のための IMT 用周波数特定の検討)で候補となった 5G 用周波数帯における戦略と 5G の想定シーン」、「ICT 分野の利活用事例に関する最近のトピック」も加えられています。

このカントリーレポートプレゼンテーションのセッションに、会員の皆様の参加を募集します。アジア・太平洋地域における移動通信関係の動向把握とともに、各国の電気通信主管庁職員との交流を深めるよい機会となりますので、是非ご参加ください。

なお、セッション終了後、研修生との意見交換会を予定していますので、こちらへも是非ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

記

日時： 2018年2月22日(木) 午後2時45分～5時45分

場所： 一般社団法人電波産業会 第2・3会議室

内容： 研修生によるカントリーレポートプレゼンテーション及び質疑応答

対象： ARIB 会員

意見交換会： 同日 午後5時45分から7時まで、第4会議室において開催します

参加を希望される会員様（各社 3 名まで）は 2 月 15 日(木)までに、社名、所属、役職、氏名、e-mail address、電話番号を事務局までご連絡ください。

事務局：一般社団法人電波産業会  
企画国際部 熊谷 佳晶  
E-mail：y-kumagai@arib.or.jp  
TEL：03-5510-8592

## 標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに2件の英語翻訳版を公開しました。

通信分野

規格番号等		標準規格名等
STD-T109	1.3 版	700MHz 帯高度道路交通システム標準規格
TR-T20	1.2 版	700MHz 帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術資料

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものであることを示します。正本と翻訳版との間に内容、表現等に何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIBの動き

## ITU-R SG5 TG 5/1 第 4 回会合の概要

WRC-19 議題 1.13（将来の IMT 開発に向けた 24.25-86GHz 帯における移動業務の追加一次分配を含む IMT 特定のための周波数に関する検討）の責任グループである SG5 Task Group 5/1（TG 5/1）の第 4 回会合が開催されました。TG 5/1 は議題 1.13 における無線システム間の周波数共用検討や CPM テキスト案の作成を行うことを所掌としています。

### 1. 会合の概要

日程： 2018 年 1 月 17 日～26 日

場所： CICG/ ITU 本部（スイス・ジュネーブ）

参加者： 各国の主管庁・事業者・ベンダー等より約 230 名

日本代表团として、総務省移動通信課 小橋係長を団長に 11 名、当会から西岡理事、加藤担当部長が参加。



会合の様子

## 2. 主要結果

今会合では 110 件程度の寄書が入力された（Working Party 等からのリエゾン文書も含む）。前会合に引き続き、主に各国寄書に基づき共用検討の作業文書の更新、CPM テキスト案のガイドラインを作成した。

### (1) 各周波数帯における既存業務との共用検討

周波数・業務ごとの共用検討結果を取りまとめる作業文書（11 文書、添付資料計 29）が作成／更新された。今会合より、個々の検討結果を元にサマリの作成に着手した。作業文書が作成されている対象周波数・業務は以下の通り。（[ ]内は検討結果の数）

- 24.25-27.5GHz EESS/SRS[6], EESS/RAS(passive)[9], FSS[11], ISS[4], FS[7]
- 31-33.4GHz: RNS[4], SRS(s to E)[2], EESS(passive)[3], RAS[1]
- 37-43.5GHz FSS(s to E)[7], EESS/SRS[3], EESS/SRS(passive)[2], FS[1], RAS[1]
- 42.5-43.5GHz FSS/MSS/BSS(E to s)[5]
- 45.5-47GHz AMS[1]
- 47-47.2GHz 入力寄書無し
- 47.2-50.2GHz EESS(passive)[3], FSS(E to s)[5]
- 50.4-52.6GHz EESS(passive)[3], FSS(E to s)[3]
- 66-71GHz ISS[1]
- 71-76GHz FS[3], Automotive radar[2]
- 81-86GHz EESS(passive)[3], FS[2], RAS[1], RAS(adjacent)[1], Automotive radar[1]

### (2) CPM テキスト案の作成

今会合より具体的な CPM テキスト案が入力されており、CPM テキスト案作成のためのガイドラインを策定した。入力された CPM テキスト案に関しては、次回会合で議論する整理となった。

AMS: Aeronautical Mobile Service  
 EESS: Earth Exploration Satellite Service  
 BSS: Broadcast Satellite Service  
 FSS: Fixed Satellite Service  
 FS: Fixed Service  
 ISS: Inter-Satellite Service  
 MSS: Mobile Satellite Service  
 RAS: Radio Astronomy Service  
 RNS: Radio Navigation Service  
 SRS: Space Research Service

### 3. 今後の予定

- 第5回 2018/5/2～11 @スイス・ジュネーブ： 共用検討完了、CPM テキスト案作成  
第6回 2018/8/20～29 @スイス・ジュネーブ： CPM テキスト案作成完了

#### 今週の ARIB 内会合（2月5日～2月9日）

- 2月5日（月） EMCC（電波環境協議会）テレメータ WG（第4回）  
2月6日（火） 海上無線通信の高度化に関する調査検討会（第3回）  
2月9日（金） 5G 共用検討調査検討会

#### 今週の国際会合（2月5日～2月9日）

- 1月31日（水）～2月7日（水） ITU-R SG5 WP5D（第29回）（韓国・ソウル）

#### 編集後記

先々週はインフルエンザにかかり、お休みをいただいていたしまいました。自分の記憶の範囲では、前回かかったのが2009年の2月。お台場で路車間通信による安全運転支援の実証実験に（通行者役として）参加し、あまりに寒かったために柄にもなく日本酒と焼き鳥を買い込んで帰宅したのを覚えています。それと関係があったのか不明ですが、数日後に勤務中に悪寒を覚え、診察を受けたところインフルエンザと判定されて、即退社となってしまいました。当時実験対象だった安全運転支援システムが今では実用化されており、年月の経過を実感します。

なお現在もインフルエンザ警報レベルは記録を更新中ですので、皆様もくれぐれもご注意ください。

（編集子：YK）



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)